

令和6年度第2回まんが王国・土佐推進協議会 総会概要

日 時：令和7年2月7日（金）13:30～15:30

場 所：高知県立公文書館（オンライン併用）

出席者：まんが王国・土佐推進協議会委員12名（うち2名は代理参加、4名はオンライン参加（うち1名は代理参加））、監事1名、オブザーバー1名（オンライン参加）

（1）副会長あいさつ

（2）報告事項

次の報告事項について、事務局から説明が行われた。

第1号報告 令和6年度まんが王国・土佐推進協議会事業報告

第2号報告 令和6年度第1回総会意見と対応について

（3）議事

次の議案について事務局から説明があり、承認された。

第1号議案 令和6年度補正予算案について

第2号議案 令和7年度事業計画案について

第3号議案 令和7年度当初予算案について

（4）閉会

第1号報告 令和6年度まんが王国・土佐推進協議会事業報告

第2号報告 令和6年度第1回総会意見と対応について

事務局より説明

【A委員】

○「あんぱん」を契機とした取組の強化について、観光の取り組み・イベントから、まんが王国・土佐に導く win-win の関係があっても良いと思う。

(事務局)「あんぱん」を切り口として、やなせたかし先生の経歴等を紹介する情報発信ツールを観光部局が作成する予定で、やなせ先生とまんが甲子園の関わりも含まれている。それを活用して、まんが甲子園会場のみならず、当課が所管している文学館や美術館、高知まんがBASE やその他の関係施設でも情報発信をしていく。

【B委員】

○第1回総会の意見を受けて、令和7年度取組(案)に至った検討過程の補足説明をお願いしたい。

(事務局) 情報発信の強化については、県内の盛り上がりについてのご意見をいただいたので、まんが甲子園の前後に集客施設等で情報発信するとともに、当日は商店街で関連イベントを実施することにより、一般来場者をまんが甲子園へ呼び込みたい。

アニメに関する取組は、まんが甲子園に会場した小中学生を対象としたアニメーション教室や、翌日には、産業振興推進部が会場校や県内高校生を含めた取組を実施予定。

「あんぱん」については、観光部局と連携して、最大限情報発信していきたい。

運営方法については、今年度、2日目のスケジュールが大幅に遅れたことに課題意識があるため、来年度は開始時間を早める。

財源については、他の大会やアンケート結果をふまえ、参加料の増額を決断した。

【C委員】

○アニメプロジェクトとの連動について、事務局で意見に対応しきれない場合は、アニメプロジェクト側の委員をこの会議に招いて議論するべきである。

○「あんぱん」については、一過性のブームに収まることなく、あくまでも漫画家ややなせたかし先生を顕彰し、そこから広がっていく、まんが王国・土佐をPRしていくべきである。

(事務局) アニメについては、県庁の担当部署からの出席を検討する。

「あんぱん」については、やなせたかし先生が特にまんが甲子園において多大なお力添えをいただいた方なので、「あんぱん」の契機ではあるが、観光部署とも連携して、

やなせたかし先生のご功績を発信していきたい。

【D委員】

○トキワ荘マンガミュージアムのワークショップでは、子どもが描いた4枚の絵をプロのアニメ制作者がアニメ仕立てにしてくれる。杉並アニメーションミュージアムでは、パラパラまんががアニメになる課程を体験できるワークショップを実施している。こうした事例を参考にされたい。

○「あんぱん」については、横山隆一記念まんが館も展覧会を実施する予定。観光政策課も熱心に取り組んでいるので、観光とタイアップすると良い。

(事務局) アニメの取組については、ぜひ参考にさせていただく。また、観光部署で年2回ほど観光関係者向けの商談会で情報発信しているので、まんが甲子園や高知まんがBASEへの誘客も観光の力を借りて取り組んでいきたい。

【E委員】

○令和7年度の取組について、取組案が成案となるタイミングを教えてください。

(事務局) 来年度予算は、2月議会での議決により成立する。取組は、本日、承認をいただければ、この内容で進めていく。

第1号議案 令和6年度補正予算案について

第2号議案 令和7年度事業計画案について

第3号議案 令和7年度当初予算案について

事務局より説明

【D委員】

○全国漫画家大会議は、まんが甲子園関連のイベントとして、一般来場者向けのまんが教室等にできれば良い。

○高知まんがBASEが、文化庁の漫画アーカイブ事業に取り組んでいるが、資金面の支援はあるのか。作品は、適切な環境で保管する必要がある。

(事務局) 全国漫画家大会議は、十分な集客に繋がらなかったため、これまで関係を築いてきた漫画家の要望に対応する方向性に転換した。漫画アーカイブ事業は、資金面の支援はないが、全国的に対象施設が少ないので、取り組んでいきたい。

【Fオブザーバー】

○メディア芸術ナショナルセンター（仮称）の構想があり、段階的にアーカイブや原画の活用の方向性について検討している。海外のキュレーターを招いたシンポジウムも企画している。

○人材育成やアーカイブに関して必要な支援があれば、お話させていただきたい。地方創生交付金について情報提供をする予定である。

（備考）2月14日に都道府県・指定都市 文化行政主管課宛に文化庁政策課より
発出

【G委員】

○まんが甲子園の審査をしているが、年々レベルが上がっている。

○「あんばん」の中で、漫画指導をしている。今後ますます土佐のまんがが発展することを祈念する。

【H委員】

○世界まんがセンバツで、インドネシアからの応募数が非常に増えているが、今後どのように育てていくのか。

○「まんが甲子園タテスクバージョン」について、主催はKADOKAWAだが、県はどのように関わっていくのか。

○全国漫画家大会議に参加してくださった先生方の取材は、支援して当然のこと。どのくらい力を入れて実施するのか。

○やなせたかし先生作曲の「手のひらを太陽に」をまんが甲子園で歌えないか。

（事務局）インドネシアは、龍馬学園とも連携しながら、まんが甲子園に応募していただきたい。「まんが甲子園タテスクバージョン」については、まんが甲子園で結果が出なかった子どもたちにチャンスを与えるスケジュール感を想定している。県も積極的に情報を発信し、相乗効果を狙う。取材支援は、編集社を訪問した際に、積極的に支援する旨をPRしていきたい。「手のひらを太陽に」の歌唱については検討する。

【I委員】

○フィルムコミッションは、具体の映画やドラマが決まっている際に、ロケ地誘致や様々な支援を行っているもの。まんがの取材支援は、フィルムコミッションと同様のものとしてのイメージが沸かない。

【B委員】

○フィルムコミッションのような形でなくても、県として漫画家の先生に講演等と（作品に取り上げていただくための）取材をセットで依頼するような形で支援がで

きないか。

【C委員】

○インドネシアやマレーシアは、現地でまんが甲子園を実施していただくと良い。インドネシアは国の予算でアニメのイベント等を実施している。当協議会はノウハウを提供する。

○「まんが甲子園タテスクバージョン」は、コマ割りが簡単かつ分業ができるので、イラストレーター志望者も参加しやすい。描き方のオンライン教室や、広報が大事。また、コマ数が少なくても良いルールならば、参加しやすい。締め切りは、11月から12月にして、表彰式は3月の全国漫画家大会議の代わりのイベントにする。

○専門のコンシェルジュを開設し、全編集部に周知する。高知での作品制作を希望する場合、出版社を通じて裏付けが取れた場合に旅費を支給するだけでも画期的。出版社用のチラシ等を作って広げていくと良い。

(事務局) 取材支援については、十分な体制ではないが、事務局で方法を検討して情報発信していきたい。タテスクバージョンのスケジュールについては、いただいた意見を踏まえて、KADOKAWAと協議していく。インドネシアについては、野球の甲子園をアジアで開催した先例もあるので、どこまで実現できるかはあるが、検討させていただく。

【J委員】

○当協議会では、次世代を育てる内容について熱く議論がある。この活動のプロセスを知っていただければ、いろいろな方に関心を持っていただけると感じた。

【D委員】

○関西万博との連携は、何を検討しているのか。

(事務局) 県の観光部局と産業部局が、高知県のPRを計画している中で、まんが王国・土佐のPRも併せてできないか調整している。また、会期中に大阪のアンテナショップで情報発信することも検討している。

【D委員】

○パンフレットを配るだけではなく、高知在住の漫画家を派遣して、会場で絵を描いていただく等ができるとう良い。

【B委員】

○まんがに関する人材育成とアニメに関する人材育成について、共通点と異なる点を教えていただきたい。

【C委員】

- まんがは、漫画家の先生を輩出することが基本。職業にするためには、コマ割り、ストーリーや魅力的なキャラクターの作り方、編集者と制作していくバイタリティー等を身につけていくことが必要で、高知県もまんが甲子園を含め、いろいろと支援している。
- アニメーションの人材育成とは、絵を描く素養がある人が専用制作ツールを使えるように育てる事を先ずる印象がある。しかしそこからさらに専門性を高めていくとアニメーション特有の「時間」の捉え方を学び、意のままに動画を演出、制作していく高度な技術の習得が必要になる。

第1号議案から第3号議案まで委員一同承認